

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 阿久根市立大川中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒899-1741  
鹿児島県阿久根市大川 8250 番地

E-mail : \_\_\_\_\_

Website : <http://www.school.city.akune.kagoshima.jp/ookawat/>

児童生徒数：男子 5 名 女子 9 名 合計 14 名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

#### (1) シルバーフレンド活動

この活動は、地域の高齢者の方々との交流活動を行い、地域社会の様々な実情に関心をもったり生きる知恵を学んだりすることを通し、郷土を愛する態度や高齢者を敬う気持ちを育成することをねらいとして行われている。平成26年度より校区内の高齢者の方々に学校へ集まっていたとき、一緒にグラウンドゴルフを行い、その後、本校の目標である「人前力」を発揮する場として、生徒たちが日ごろの学習の成果を披露する時間を設けている。グラウンドゴルフでは、今年度は各区のチームの中に生徒が一人ずつ入るチーム構成をとったことで、高齢者の方々と話し合いながら楽しくプレイし、交流を深めることができた。また、発表内容（演目）として、国語の授業で行った暗唱や、市音楽発表会で発表した合唱、リズムダンスふれあいコンクールで発表するダンスなどを堂々と披露することができた。

また、活動終了後には生徒がお礼状を作成し、参加していただいた高齢者一人一人に送付した。さらに年末には活動時の写真をカレンダーにして配付した。なお、活動に関わる経費は、市の「あくねっ子事業」の助成金を活用した。



ふれあいグラウンドゴルフの様子



体育館での発表風景

#### (2) 大川CT (OKAWA Creative Time)

「大川CT」とは総合的な学習の時間のコース別学習であり、以前から実施されているが、平成25年度よりESDの視点をより明確にしたコース開設を行っている。今年度のコースは、次の2コースが開設され、それぞれの視点に沿った活動に取り組んだ。

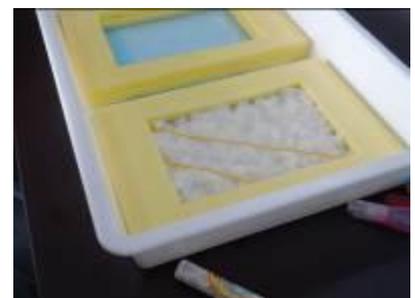
【持続可能な社会コース】→ 地域の文化理解の視点から、大川の昔の暮らし（衣・食・住）について調べるコース。大川地区に住む方々からの聞き取りや関連した文献を用いた調べ学習を行った。

【エココース】

→ 環境改善の視点から、エコ活動に取り組む意義をまとめ、エコ活動を体験するコース。エコ活動として、廃油石鹸作りと給食の牛乳パックを活用した和紙作りを行った。



持続可能な社会コース：活動のまとめ・文化祭発表の様子



エココース：エコ活動体験の様子（給食で出る牛乳のパックを利用し、和紙を作成している）



エココース：活動のまとめ・文化祭発表の様子



「和のインテリア」（家庭教育学級）で作成した作品（エコ活動で作成した和紙も使用）

この活動成果を11月に行った「大川小中合同文化祭」にて発表することができた。エココースで行ったエコ活動の一つである「和紙作り」で作成した和紙については、小中合同の家庭教育学級の「和のインテリア」活動で使用することができた。その作品も小中合同文化祭や市文化祭で展示することができた。

(3) ボランティア活動

ア ペットボトルキャップ収集

キャップ 860 個を集めてボランティア団体に送ると、1 人分のポリオワクチン代 20 円となることから、本校ではこれまで生徒会活動の一環として収集活動に取り組んでいる。

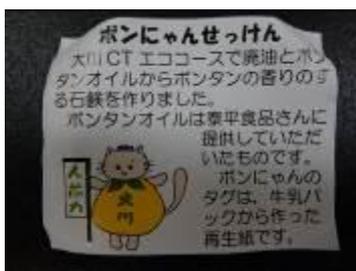
平成 28 年 4 月までの累積送付数が約 256,000 個、約 297 人分のワクチン代を集めることができた。平成 26 年度より、学校だより等で地域にも積極的に収集の協力を呼び掛けており、昨年度の約 144,660 個をはるかに超える、約 215,000 個のペットボトルキャップを収集することができた。生徒や地域の方々の意識や協力体制が高まっている成果である。累積で言えば、約 471,000 個、ワクチン代として約 547 人分を集めたことになる。もし仮に、これを収集せずそのまま燃やしたとすると、二酸化炭素 3446.1kg 分となる。環境問題としても考えることのできる活動となっている。



今年度の収集成果

イ 廃油石けん作り

この活動は今年で 12 年目である。前年度までは生徒会保健部の活動の一つとして位置づけて行っていたが、今年度は大川 CT のエココースの活動の一つとして行った。各家庭から廃油を集め、エコ石けんを作り、配布を行っている。今年度は地元の食品加工企業に御協力いただき、「ぼんたんオイル」を混ぜて廃油石けんを作成し、文化祭において保護者や地域の方々に配布した。廃油石けんから地元の生産物「ぼんたん」のよい香りがし、各家庭で使っていただいた感想も大変好評であった。



廃油石けん作りの様子と文化祭に来ていただいた方々へ配布した廃油石けん

(4) 「いじめ問題を考える週間」 道徳の時間の授業公開

例年、9月に各学年一斉に道徳の時間を保護者に公開してきた。今年度は学校関係者評価委員の方にも呼びかけ、多数参観いただくことができた。この授業を通して「いじめは絶対に許さない」という気風が学校全体で高まった。また、この授業後に「いじめ問題を考える標語」を生徒会で募集し、全校生徒が作成した。その中で特に秀でたものについては、校内表彰し、学校内に掲示している。



1年生授業風景



1年生授業風景



2年生授業風景



3年生授業風景

(5) ユネスコ新聞の発行

本校では学校便り「大川魂」を月に一度発行し、校区内の全世帯及び同市内の全学校を含む各教育機関に配付している。平成25年度から二か月に一回、その裏面に生徒会本部が中心となり作成した「ユネスコ新聞」を掲載し、学校で行っているユネスコ活動の紹介やボランティア活動への参加呼びかけなど、多くの方々へ発信している。



『学校便り』 及び 『ユネスコ新聞』

